

平成25年3月期 ミニ ディスクロージャー誌

くましんの現況 2013

お客さまに
『感謝』90周年
 熊本信用金庫

平成24年度(平成25年3月期)の業績につきまして

ご挨拶

平素より皆様方には格別のご愛顧・お引立てを賜り、厚く御礼を申し上げます。本年もミニディスクロージャー誌「くましの現況2013」を作成いたしました。本誌では、幣金庫の経営方針や業務・財務の内容について出来る限り分かり易く開示させて頂くこととしており、幣金庫についてのご理解の一助になれば幸いと考へて作成致しております。なにとぞご高覧頂き、ご理解を深めて頂きますと共に、より一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当金庫は、地域社会の発展に貢献することを第一の目標に掲げ、それを実現するためには安定的な金庫経営の確保が重要である事を肝に銘じて、健全性と独自性を堅持しながら、リスク管理の強化や収益基盤の再構築、経費削減等の合理化・効率化に取り組んで、経営体質の一層の強化に取り組んでまいります。

理事長 品川 良照

当金庫のプロフィール

(平成25年3月末現在)

創 業	大正12年8月29日
出 資 金	1,060百万円
預 金	137,897百万円
貸 出 金	73,135百万円
会 員 数	18,754名
店 舗 数	19店舗
役職員数	193名
営業区域	熊本市、宇土市、八代市、山鹿市、 菊池市、玉名市、宇城市、阿蘇市、 合志市、上益城郡、下益城郡、 八代郡、菊池郡、阿蘇郡、玉名郡

(ホームページ)

<http://www.kumamoto-shinkin.jp>

預金・貸出金の状況

平成25年3月期末の預金残高は137,897百万円となり、期首比1,293百万円の増加となりました。内訳は、流動性預金が1,207百万円増加し、定期性預金も86百万円増加して、トータル1,293百万円の増加となっております。

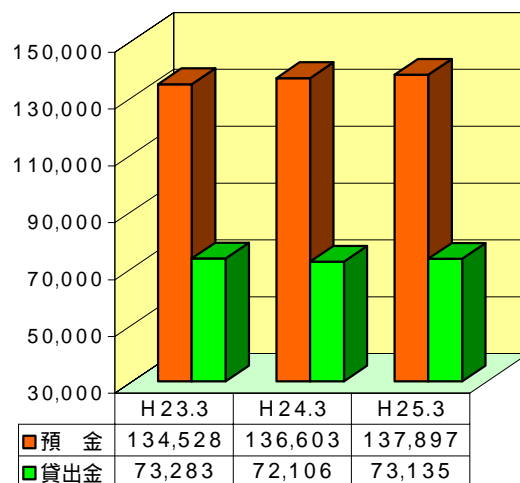
過去に販売しました高金利定期預金の満期が到来したり、市場金利の低下に合わせて提示した店頭新規預入利率が低位に止まっていたこと等もあって、金利選好色の強い個人の定期性預金の一部には払出しも見受けられましたが、東日本大震災における震災孤児の、就学等を支援する基金に寄付する事を目的に企画された、信金中央金庫との提携商品である「しんきん東日本大震災復興支援こども応援定期積金」のように、多くの方から沢山のご賛同をいただきました商品もあって、比較的安定的な推移でありました。

今後も、取引軒数増加と複合取引の増強を推進し、基幹商品である定期積金や小・中口定期預金の取り組みに注力しながら、預金増強に努めてまいります。

貸出金に関しましては、期末の残高が73,135百万円となり、期首比1,028百万円の増加となりました。昨今では事業性資金需要の低迷に加え、金融機関相互間の競争も熾烈を極めましたが、地域に根差し、きめ細かな金融に徹することで、地域の皆様から信頼をいただき、地域経済発展のために、起業支援、創業間もない企業の育成、成長期の企業への資金応需など、企業のライフサイクル、個人のライフステージに合わせた質の高いサービスを提供して来たことの結果であると考えております。

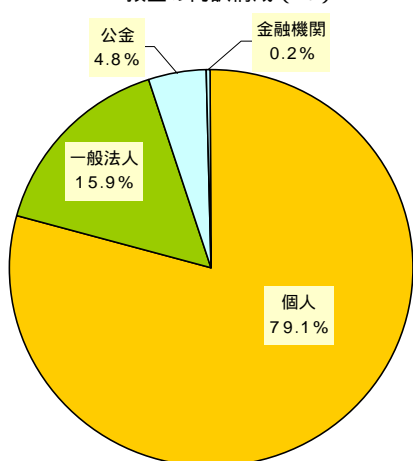
今後も一層ネットワークを活かし、「スピード力」「目利き力」「つなぐ力」を強化して、コンサルティング機能を充実させ、地元の皆様に信頼され、最も身近で相談しやすい、安心して頼れるパートナーとなれるよう精進を重ねてまいります。また、利便性の高い事業性資金や個人リテール資

預金・貸出金 期末残高

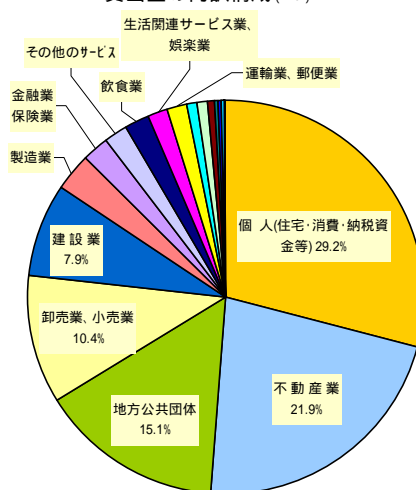


(百万円)

預金の内訳構成 (%)



貸出金の内訳構成 (%)

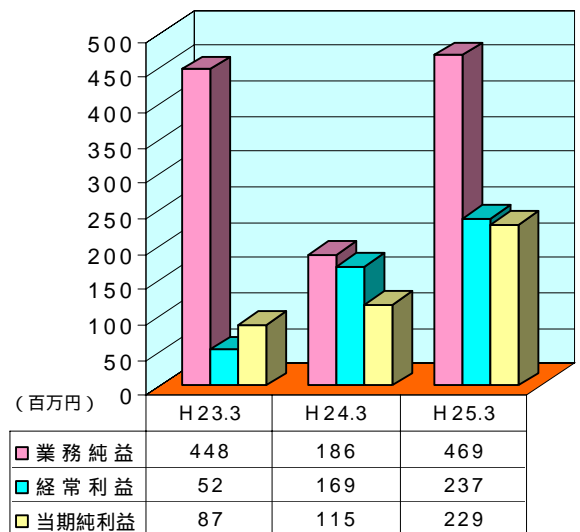


- 個人(住宅・消費・納税資金等)
- 不動産業
- 地方公共団体
- 卸売業、小売業
- 建設業
- 製造業
- 金融業、保険業
- その他のサービス
- 飲食業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 運輸業、郵便業
- 宿泊業
- 医療・福祉
- 教育、学習支援業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 情報通信業
- 物品賃貸業
- 鉱業、採石業、砂利採取業
- 農業、林業
- 漁業

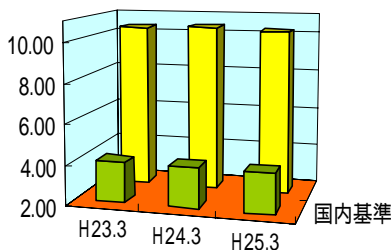
損益の状況

信用金庫の主たるお取引先である中小企業や地域経済に於きましては、未だに本格的な景気回復感を実感する段階には至っていないものと思われ、相変わらず資金ニーズの低迷が続きました。金融機関同士の金利競争だけが熾烈を極める中で、ここ数年は融資残高も低迷したままでしたが、当金庫ではその事態からの脱却を経営課題に掲げて積極的な融資推進を展開致しましたため、平成24年度はに於きましては、貸出金残高は若干ではありますが増加に転じております。しかし、金利競争の中で利回りの低下は進み、貸出金利息収入のみならず、貸出金以外の利息収入も減少となりましたので、資金運用収益は2,429百万円と対前期比で55百万円の減少となりました。一方、預金につきましても金利低下が浸透し、資金調達費用も対前期比で63百万円減少しましたため、資金運用収支は対前期比で8百万円の増加となりました。また、引き続き経費削減にも取り組みましたため、人件費・物件費を中心に161百万円が削減でき、一般貸倒引当金の費用が若干の戻入超過となったことで業務純益は469百万円と、対前期比282百万円の増加となりました。また、貸倒れ引当金等の実質「償却・引当」額を200百万円計上して資産の健全化に努めましたが、経常利益も237百万円と対前期比67百万円の増加となり、当期純利益は229百万円と対前期比113百万円増加致しました。

損益の状況



自己資本比率



	H23.3	H24.3	H25.3
国内基準	4.00	4.00	4.00
当金庫	10.29	10.41	10.25

(%)

自己資本比率の状況

平成24年度の自己資本比率は、10.25%と前期の10.41%に比べて0.16ポイントの低下となりました。これは、比率の分子となる自己資本額は内部留保の積み増し等により、214百万円増加して5,694百万円となったものの、貸出金残高の増加等を理由に、分母となるリスクアセット額も2,932百万円増加して55,548百万円となったことによるものです。

また、当初は平成21年3月期より平成24年3月期までと定められ、平成26年3月30日までの延長が決定された比率計算上のルールの一部弾力化措置は当期も適用されておりますが、当期につきましては、「その他有価証券の評価差損」の該当はありませんでした。

なお、自己資本比率の国内基準は4.0%であります。当金庫の比率は本年度もこれを大幅に上回っており、十分な健全性が確保されております。

不良債権の状況

金融再生法開示債権額と保全状況

(単位: 百万円、%)

	平成22年度 (平成23年3月期)	平成23年度 (平成24年3月期)	平成24年度 (平成25年3月期)
金融再生法上の不良債権	4,435	4,407	4,484
(A)=()+()+()			
破産公正債権等 ()	1,472	1,159	695
危険債権 ()	2,532	2,883	3,506
要管理債権 ()	430	364	283
正常債権 (B)	69,794	68,371	69,201
合計額 (C)=(A)+(B)	74,230	72,779	73,686
不良債権比率 (D)=(A)/(C)	5.98%	6.05%	6.08%
保全額 (E)=()+()	3,386	3,303	3,307
貸倒引当金 ()	705	540	466
担保・保証等 ()	2,681	2,763	2,840
保全率 (F)=(E)/(A)	76.35%	74.95%	73.75%
担保・保証等控除後債権に対する引当率 (G)=()/(A)-()	40.20%	32.87%	28.39%

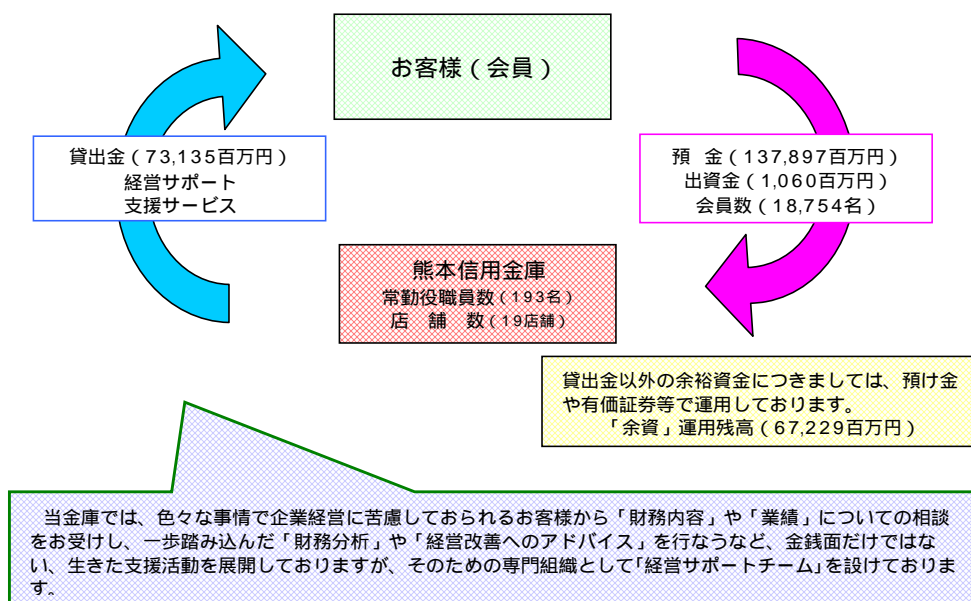
- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権()」とは、破産、会社更生、再生手続等事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 「危険債権()」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権()」とは、「3カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。
- 「正常債権(B)」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権()」、「危険債権()」、「要管理債権()」以外の債権をいいます。
- 貸倒引当金()は、個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。
- 担保・保証等()とは、「金融再生法上の不良債権(A)」のうち、預金・積金、有価証券及び不動産等の担保並びに信用保証協会等機関保証による回収が可能と見込まれる金額です。

熊本信用金庫と地域社会

当金庫は、熊本市とその周辺地域を主な営業区域と定め、地元中小企業事業者の皆様や地域住民の皆様に「会員」や「お取引先」となっていただき、営業を営んでおります。その営業は「お互いを助け合い・お互いに発展して行く」ことを基本理念としおり、数多く存在する金融機関の中でも「相互扶助型金融機関」と位置付けられる所以となっております。

地元の皆様との間では強い絆やネットワークを形成しており、「地元のお客様」からお預かりした大切な資金（預金積金）は、資金を必要とされる「地元のお客様」を中心にご融資するなど、「地元」の事業や生活繁栄のお手伝いを第一の目標として日々の活動を行っております。熊本信用金庫は単なる金融機能の提供に止まらず、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努め、文化・環境・教育といった多方面も視野に入れながら、広く地域社会の活性化に寄与すべく積極的な活動に取り組んでまいります。

(平成25年3月末現在)



店番	店舗名	住所	電話
001	本店営業部	〒860-8655 熊本市中央区手取本町2番1号	096-326-2211
002	二本木支店	〒860-0051 " 西区二本木2丁目12番14号	096-354-4811
003	川尻支店	〒861-4115 " 南区川尻4丁目13番8号	096-357-6231
005	健軍支店	〒862-0908 " 東区新生2丁目3番4号	096-367-1011
006	子飼支店	〒860-0853 " 中央区西子飼町10番5号	096-343-5233
008	南熊本支店	〒860-0813 " 中央区琴平2丁目1番1号	096-372-1133
009	県庁前支店	〒862-0950 " 中央区水前寺6丁目31番24号	096-381-3000
010	新外支店	〒862-0913 " 東区尾ノ上4丁目11番30号	096-367-3811
011	上熊本支店	〒860-0072 " 西区花園1丁目2番2号	096-325-1231
012	秋津支店	〒861-2102 " 東区沼山津3丁目3番2号	096-365-1101
013	薄場支店	〒861-4131 " 南区薄場3丁目1番1号	096-357-0611
014	江津支店	〒862-0941 " 中央区出水5丁目11番41号	096-363-1611
015	新地支店	〒861-8075 " 北区清水新地5丁目10番33号	096-339-1222
016	御幸田迎支店	〒861-4172 " 南区御幸田1丁目1番7号	096-379-0006
017	長嶺支店	〒861-8039 " 東区长嶺南3丁目8番114号	096-381-3288
019	宇土支店	〒869-0431 宇土市本町4丁目14番	0964-23-5511
020	菊陽支店	〒869-1101 菊池郡菊陽町津久礼2429番1号	096-232-3330
021	合志支店	〒861-1112 合志市幾久富1758-147	096-248-3335
022	飛田支店	〒861-5514 熊本市北区飛田4丁目10番7号	096-344-1313

印の自動機は土・日曜日も稼働しております。

印の自動機は土・日曜日、祝日も稼働しております。